

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	サンキ・ウエルビー株式会社	代表者	並木 寛	法人・事業所の特徴	「福祉事業を通じて地域社会に貢献する」という企業理念のもと、地域包括ケアの中のセイフティネットを目指し、泊り・通い・訪問のサービスを十二分に活かし柔軟な対応で工夫しながらその人らしい生活の維持ができるよう努力している。毎月の研修や意見交換を行いサービスや質の向上を目指している。
事業所名	サンキ・ウエルビー小規模多機能センター大崎	管理者	瀬島 由美子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	人	1人	1人	人	1人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	スタッフの個人、事業所の現状の課題についてミーティングで共有する。	勤務時間も異なり、報告・連絡・相談が十分できないことがあった。	改善計画をもう少し具体的なものにしていったほうが取り組みやすいのではないかと？	現状の課題を事業所全体で話し合う時間を設け、全体で情報共有していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	行事開催の際には地域の方へ向けての声掛けと施設案内を行う。	事業所内で夏祭り・敬老会・クリスマス会・節分・ひな祭り等四季折々のイベントが開催できた。季節を感じられるようなレクができた。	民生委員の交代で関わる予定であったがコロナ対策のため実際に事業所を訪れることもできなかった為よくわからない。	利用者様にとって安心安全の場所作りを行い、楽しい時間を過ごしていただく。
C. 事業所と地域のかかわり	公民館との共同の行事を開催する。	公民館行事のお餅つきには利用者の方と参加できた。以降コロナのため関りができなかった。	コロナ対策として施設も家族・地域もかかわりを最小限にしていたため地域とのかかわりは出来ない状態で致し方ない。	地域交流を通じて地域の方々に事業所を知っていただけるように努める。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域行事への参加。ボランティアの受け入れを行っていく。	コロナ対策のため地域行事への参加は出来なかった。	今までと同じような生活は難しいと思います。地域との交流は困難ですがこんな時こそ日々の楽しみを見つけ明るく過ごせるよう援助してほしい。	地域の社会資源を知り、活用できるように努める。
E. 運営推進会議を活かした取組み	新しい民生委員の方へ声掛けを行い運営推進会議に参加していただき情報共有やご意見を頂く。	民生委員の交代もあり新しい方に声を掛けることができたがコロナのため運営推進会議の開催ができなかった。	コロナ対策のため参加できなかった。今後は困ったときに相談に乗ってほしい。	地域の方や・行政の方からの意見を聞く機会をできるだけ持ち、情報共有していきたい。
F. 事業所の防災・災害対策	地域防災訓練に参加する。事業所の防災訓練を案内し地域や家族に参加を促す。	12月・3月に避難訓練実施 コロナ対策のため地域の方に声掛けは出来なかった。	災害時・避難拠点となって頂ければ心強い。	地域の防災訓練に参加する。事業所の防災訓練を案内し地域や家族に参加を促す。